

「奈良のくすり」めぐり

「奈良のくすり」スポット

高取町

●くすり資料館（む そうかんくら夢創館蔵）／しんのうやくそしんさい神農薬祖神祭

奈良県高市郡高取町上土佐20-2（入館料無料）

TEL 0744-52-1150

http://sightseeing.takatori.info/shightseeingspot/musoukan_medine_project.html

やまとだかとり大和高取のくすり資料館では、くすりを手作業で作られていた頃の道具や器具、カンバン、はかりい秤類、以前に作られた薬と現在製造されている薬や、はいちはんばい配置販売に使われていた柳はいちようおおぶくろごうりやカバン、はいちばこ配置用大袋、かけばちよう配置箱、懸場帳など薬業に関する資料を展示しています。



高取町くすり資料館（高取町観光協会提供）

また、高取町では、毎年1月22日に薬の神様をお祭りするやくそしんさい薬祖神祭が盛大に執り行われています。



高取町くすり資料館内部（高取町観光協会提供）



神農薬祖神祭（高取町観光協会提供）

●つぼさかてら壺阪寺

奈良県高市郡高取町壺阪3（入場料必要）

TEL 0744-52-2016

<http://www.tsubosaka1300.or.jp/>

古来からがんびよう れいげん眼病に靈驗あらたかな寺としてしんこう信仰され、説話「せつわ つぼさかれいげんき壺坂靈驗記」におけるさと さわいちお里・沢市の話は、あまりにも有名です。また、日印合同でさまざまな浄業を行っており、境内にはインドで制作された大観音石像（全高20m）や伝図石造レリーフ（全長50m）だいなはんせきぞう大涅槃石像（全長8m）などの大石造美術が安置されています。

つぼさかてら壺阪寺は、昔から目の不自由な人々にとっての聖地として厚い信仰と、深い願いがこめられ、全国各地から訪れる人が絶えません。お土産に目薬や目に関する食品やお茶が有名です。



壺阪寺（壺阪寺提供）

桜井市

●^{おおみわじんじゃ}大神神社 ^{さいじんじゃ}狭井神社 くすり道

奈良県桜井市大三輪

TEL 0744-42-6633

<http://www.oomiwa.or.jp/>

奈良県桜井市にある^{おおみわじんじゃ}大神神社は、^{やまといちのみや}大和一ノ宮であり、^{みわみょうじん}三輪明神とも呼ばれています。^{みわやま}三輪山を^{しんたい}ご神体としており、日本最古の神社と呼ばれているもののひとつです。

^{おおみわじんじゃ}大神神社には、「くすり道」という道があります。^{おおみわじんじゃ}大神神社から、^{さいじんじゃ}狭井神社までの間の^{わずか}僅かな距離ですが、製薬会社の協力で作られており、道の両脇には^{やくそう}薬草や^{やくぼく}薬木が植えられています。



くすり道（大神神社提供）



薬井戸（大神神社提供）

4月18日は、^{おおみわじんじゃ}大神神社と^{さいじんじゃ}狭井神社の^{はなしずめのまつり}鎮花祭の日です。毎年、桜の花びらが舞い散る頃、花びらとともに^{えきびょう}疫病が流行ると信じられ、花を鎮めようとなりました。これが、鎮花祭、「はなしずめのまつり」です。「薬まつり」とも呼ばれています。

^{はなしずめのまつり}鎮花祭では、^{やくそう}薬草である^{ゆりね}百合根や^{にんどう}忍冬が供えられます。そして、神社では、この^{みへい}時期限定の^{にんどうしゆ}御幣や^{えきびょうよ}忍冬酒が授与されます。^{はなしずめのまつり}鎮花祭の^{みへい}御幣は、^{えきびょうよ}疫病除けの^{にんどうしゆ}お守りです。^{さいじんじゃ}忍冬酒は、^{しんずい}狭井神社のご神水で作られたもので、からだがよく温まり、関節などの痛みに効果があるとされています。

う だ し 宇陀市

●宇陀のかぎろひの丘・万葉公園

奈良県宇陀市大宇陀区迫間 25

宇陀は、かつて、^{かきのもとひとまる}柿本人麻呂が^{かるのみこ}軽皇子（^{もんむてんのう}のちの文武天皇）のお伴をして^{あきの}阿騎野で狩りをした際、「かぎろひ」という雄大な朝焼けの風景を詠った場所です。



宇陀のかぎろひの丘

宇陀での狩りとは、「薬狩り」を指します。薬狩りとは、男性は薬になる鹿などの動物を狩り、女性は薬草を摘む、飛鳥・奈良時代の^{きゆうてい}宮廷行事です。

ひむがしの 野にかぎろひの 立つみえて かへりみすれば 月かたぶきぬ

^{かきのもとひとまる}（柿本人麻呂：「万葉集」より）



宇陀のかぎろひの丘 柿本人麻呂像

●宇陀市大宇陀歴史文化館 薬の館

奈良県宇陀市大宇陀区上 2003（入館料必要）

TEL 0745-83-3988

最盛期には50軒以上の薬問屋くすりどんやが軒のきを並べた薬の町・大宇陀にあって、薬問屋くすりどんやを営んでいた細川家の旧住宅を利用した文化館です。築約150年という建物の中には、薬の看板や細川家が生家であり、藤沢薬品株式会社（現アステラス製薬株式会社）の創業者である藤沢友吉に関する資料などを展示しています。表に掲げられた手の込んだ造りの銅板葺唐破風附看板は、往事の繁栄ぶりを今に伝えています。



大宇陀歴史文化館 薬の館（宇陀市教育委員会提供）

御所市

●三光丸クスリ資料館

奈良県御所市大字今住700-1（入館無料）

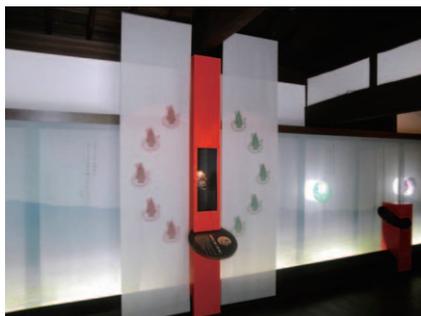
TEL 0745-67-0003

<http://www.sankogan.co.jp/>



三光丸クスリ資料館は、先人たちが残した薬草やくそうと配置薬はいちぐすりのさまざまな知識と知恵を知ると共に、はるか三光丸クスリ資料館内部（三光丸クスリ資料館提供）元応年間から製造され、七百年にわたって暮らしのなかで愛され続けてきた三光丸を通じて、配置薬はいちやく販売の歴史や実際を知ることでできるミュージアムです。

見たり聞いたりするだけでなく、薬草の実物や薬づくりの道具にふれたり、薬づくりを体験したり、五感すべてを使って、いろいろな角度から「大和の薬やまと」をお楽しみいただけます。



三光丸クスリ資料館（三光丸クスリ資料館提供）

● 吉祥草寺

奈良県御所市大字茅原 279 (入場無料)

TEL 0745-62-3472

<http://www.en-chan.com/>



吉祥草寺 (吉祥草寺提供)

大和盆地の南部、西に金剛・葛城の山並を間近に望む御所市茅原の地に伽藍を構える吉祥草寺は、山号が茅原山、金剛寿院吉祥草寺と称する古刹です。この地は修験道の開祖役行者神変大菩薩の出生地とされ、役行者(小角)の創建と伝えられています。

吉祥草寺最大の祭りは「大とんど(左義長)法要」で、1978年(昭和53年)国の無形民俗文化財に指定されている。この祭りは、役行者が冤罪により伊豆に流され、701年(大宝元年)に無事帰還した折、茅原の里人がこれを喜び、大きな松明を焚いて祝ったのが始まりとされ、古い行事を今に伝えています。

吉野町

● 金峯山寺

奈良県吉野郡吉野町吉野山

TEL 0746-32-8371

<http://www.kinpusen.or.jp/>



金峯山寺 (大和路フォトストックライブラリーより提供)

世界遺産の金峯山寺は、古来より「日本の桜の名所」といわれる吉野の山桜をご神木とする修験道のお寺です。役行者により白鳳年間(7世紀後半)に開創され、役行者が金剛蔵王大権現金峯山(山上ヶ岳)を感得し、その姿を山桜に刻んで、山上・山下蔵王堂に祭祀されたのがはじまりとされています。1874年(明治7年)、明治政府により修験道が禁止され廃寺となりますが、1886年(明治19年)に天台宗の仏寺となることで復興。1948年(昭和23年)に、蔵王堂を中心とした金峯山修験本宗を立宗し、修験道の総本山として今日に至っています。